プレスリリース

令和４年12月20日

東北森林管理局
藤　　里　　町

「400年ブナ」に代わる白神山地の新たなシンボルツリーについて

藤里町の岳岱自然観察教育林内では、これまで「400年ブナ」が白神山地のシンボルとして親しまれてきました。

しかし、「400年ブナ」は、樹勢の衰えに加え、令和４年冬の多雪が要因となり倒伏したため、現在は、現地にそのままの形で保存し、天然林の自然の営みを観察する場としております。

この岳岱自然観察教育林内には、倒伏した「400年ブナ」のほかにも、一際大きなブナや、シナノキ、ヤチダモなどの巨木が生育しており、これまでも訪れた方々に御覧いただいてきたところです。

今般、藤里町と東北森林管理局において、「400年ブナ」を受け継ぐ新たなシンボルツリーを相談した結果、岳岱自然観察教育林の看板やパンフレット等で紹介してきた「ブナの巨木」及び「シナノキの巨木」を新たなシンボルツリーとすることといたしました。

また、これらの愛称を「岳岱大ブナ」（ポイント：遊歩道周辺のブナの中で最大。400年ブナの後継樹。）及び「こまいぬシナノキ」（ポイント：遊歩道周辺のシナノキの中で最大。木のコブが神社の狛犬に見える。）とすることとしましたので、お知らせします。

国民の森林・国有林

問合せ先
東北森林管理局　技術普及課課長補佐

電話０１８－８３６－２２１４

林　野　庁

【シンボルツリーの紹介】

○「岳岱大ブナ」

岳岱自然観察教育林の遊歩道を右側に進むと見えるブナの巨木（幹周り約 4m、樹高約 29m）です。

岳岱大ブナ

岳岱大ブナ

○「こまいぬシナノキ」

岳岱自然観察教育林「岳岱大ブナ」の奥にあるシナノキの巨木（幹周り約 5m、樹高約 28m）です。

こまいぬに見えるコブ

こまいぬシナノキ